

さいたま市議会議員 てるきな弘志の

# てるきな通信



発行責任者：公明党 さいたま市議会議員団 てるきな弘志 さいたま市中央区下落合4-10-14-401

## 12月定例会 活動報告



■保健福祉委員会で質問

### 12月議会より

令和元年12月定例会が行われました。11月27日から12月20日まで12月定例会が開催され、台風19号により被災した都市公園の復旧や農業支援を含む補正予算の審査を行なったほか、令和元年台風19号災害対策調査特別委員会を設置し、被害の早期復旧に向けて審議しました。

### 公明党さいたま市議団一般質問より

#### ●避難所のトイレに手すり、 簡易型エアベッドの導入を提案

**答弁** 車椅子に対応した組み立て式トイレなどの整備により対策を講じています。また、障がい者など要配慮者のためエアマットを3万5,900枚備蓄しています。

#### ●避難所に液体ミルクの備蓄を提案

**答弁** 避難所防災倉庫での備蓄は保管の観点から難しいが、拠点備蓄倉庫では保管可能であり、検討を進めています。

#### ●交通弱者の移動手段として AI活用型デマンド交通の導入を提案

**答弁** 交通空白地域の解消に有効であり、重要政策として取り組むべき課題であると認識しており、導入に向けた検討を進めてまいります。

#### AI活用型デマンド交通とは？

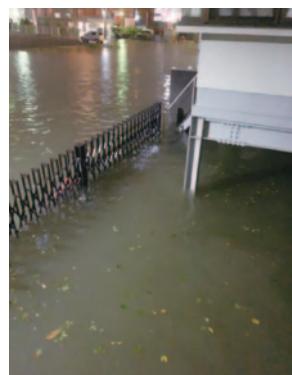
決まったダイヤではなく、利用者のリクエストに応じ、適宜ルートを変えながら運行するバスやタクシーなど。



### 清水さいたま市長に緊急要望



公明党さいたま市議会議員団は、被災者の声を「台風等大雨対策の強化を求める緊急要望」としてまとめ、台風19号の被災から3日後の10月15日に、清水さいたま市長に提出しました。要望書では、①床上・床下浸水した家屋の消毒要望に対応すること、②水路の浚渫、③国や県と連携した1級・2級河川の強靱化、④災害ごみの早期撤去・処分など11項目を提言。1日も早い復旧・復興を求めました。



## 保健福祉委員会での質問より

### 全ての子どもに幼児教育を

「令和3年4月を目指して待機児童を解消する」との9月定例会での清水さいたま市長の答弁に対して、本定例会での保健福祉委員会において、具体的な計画について確認いたしました。

幼児未来部長からは、令和3年を目指して4800人分の受け皿の確保を行うこと。そ



©KOMEITO

のために未利用市有地・公有地を活用すること。さらに保育士の配置基準の緩和を検討することが示されました。

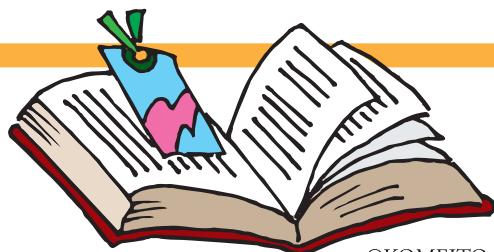
### 全てのお母さんに子育て情報を

子育て世代のお母さん方へさいたま市の子育て情報を提供するさいたま子育てWEBをもっと活用してもらうため、子育てWEBのアプリ化と、定型的な質問にAI(人工知能)が答えるAIチャットボットの導入を提案いたしました。

これにより、スマホでいつでも必要な子育て情報にアクセスできるほか、行政から必要な情報がタイムリーに届くようになります。また、AIチャットボットが質問に答えてくれるので、わざわざ関係する窓口を探して問い合わせる必要がなくなります。

### 全ての人に読書環境を

9月定例会でも質問した読書バリアフリー（視覚障がい者等が自由に読書できる環境を整備すること）について、本定例会ではAIを搭載した視覚支援デバイスの購入助成について質問し、福祉部長より給付対象とすることができますとの答弁を引き出しました。このデバイスは、指でさした文字をメガネに取り付けたカメラが読み取り、音声で内容を伝えるというものです。



©KOMEITO

これにより視覚障がいがあっても点字や音声対応の電子図書（デイジー図書）に頼らずに一般書籍を読むことができ、読書バリアフリーを大きく進めることができます。

### 医療的ケア児に対する看護師派遣が始まりました



9月定例会での保健福祉委員会で質問した、医療的ケア児に対する看護師派遣が始まりました。小学校に通う医療的ケアを必要としている児童のケアは保護者に任せられていましたが、この秋から訪問看護ステーションから児童の小学校に看護師が派遣されることになり、保護者の負担が減りました。